

リハビリテーション科専門医研修ネットワークプログラム

1 はじめに

リハビリテーション（以下リハ）は、疾患重視の医療の中で、唯一障害を専門に扱う診療科です。リハというとPT、OT、STを想像する方が多いと思われませんがリハ科医師に関しても、ニーズ・期待は極めて高くなっています。リハ医がいるといないとではリハの質が全く異なるという研究結果が出ています。しかしながら、既存の医学教育の場で履修する機会が乏しい分野であるため、リハに対して専門的な知識を持って対応できる医師は少なく、リハ科医師の需要は多く、慢性的に不足しています。新専門医制度の中でも基本診療科目にリハビリテーション科が含まれ、2018年度（1年順延）から当院を中心とした静岡広域病院連携リハビリテーション科専門研修プログラムがスタートする予定です。今年度は従来のプログラムを運用いたしますが、新専門医制度にスムーズにつなげるため当院及び聖隷リハビリテーショングループの研修体制を整えています。



また、リハを専従しない他科の医師に対しても、リハに対する知識・技術を獲得することで、医療技術の向上が可能となるように、積極的な研修の受入れを行う用意があります。

プログラムリーダー 浜松市リハビリテーション病院 病院長 藤島 一郎

2 目的

リハ医療に対する需要は増加の一途をたどる中、リハ科専門医は圧倒的に不足をしており、この静岡県においても例外ではありません。そのような中で当プログラム関連病院では、リハビリテーション科専門医を育成する指導医・上級医がそろっており、十分な枠組みも用意されています。リハビリテーション科専門医に相応しい知識・技能を習得し、質の高い専門医の養成を目指します。

3 目標

日本リハビリテーション医学会専門医制度の定める卒後研修カリキュラムにある、リハビリテーション医学の研修を行う際の目標として望まれる項目・レベルを関連病院内における研修で達成することを目標とします。また学会発表や研究、企業との共同開発といった分野にも積極的に取り組むことを奨励しています。

4 特徴

(1) リハビリテーション科主科病床で主治医として対応できる

（急性期病院での研修の場合）

聖隷三方原病院はリハビリテーション科として病床を有しており、単にリハ処方・評価のみならず、全身管理や合併症等に対する医学的管理を主治医として対応することが可能です。

（回復期病院での研修の場合）

浜松市リハビリテーション病院は回復期リハ病棟で亜急性期から患者を受け入れているため単にリハ処方・評価のみならず、全身管理や合併症等に対する医学的管理を主治医として対応することが可能です。

(2) あらゆるステージに対応できる

浜松市リハビリテーション病院、聖隷三方原病院、聖隷浜松病院をローテイトできるプログラムで対応するリハビリテーションは、急性期・亜急性期にとどまらず、回復期、維持期、更には緩和期・終末期（ホスピス入院患者等対象）など、障害を持った方に対して求められるリハをあらゆるステージにおいて研修が可能である。また、脳卒中を中心とした神経系疾患においては、当直医として救急の現場から対応することにより、急性期の診断や治療に対する知識の習得が可能である。

(3) 多職種による包括的なチーム医療が実践できる

関連病院内には、リハビリテーションに係わるスタッフ（他科医師、セラピスト、看護師、ケースワーカーなど）が多数在籍する組織であり、リハビリテーションに対する理解があります。そのような環境での研修により、チームリーダーとしてリハビリテーション医療の手腕が発揮できるような専門的知識・技術を有した医師養成が可能です。

(4) 関連病院での臨床研修ができる

ひとつの病院での研修だけでも、リハビリテーション科専門医受験資格に必要な症例を経験することは可能ですが、臨床経験の幅を持たせる上でも、関連病院（聖隷三方原病院、聖隷浜松病院）での研修もプログラムとして組んでいます。

5 研修カリキュラム

日本リハビリテーション医学会の専門医の認定に関する内規に準じます。

- (1) 医師免許取得後5年以上及び本医学会加入後3年以上を経過していること
- (2) 本医学会の定めた専門医制度卒業研修カリキュラムに基づき本医学会が認定する研修施設において3年以上の研修を行ったものであること
- (3) 本医学会における主演者の学会抄録2篇を有すること
- (4) 前号(3)の2篇のうち1篇は、本医学会地方会における会誌掲載の学会抄録または地方会発行の発表証明書をもってこれに代えることができる。
- (5) 自らリハビリテーション医療を担当した30症例の症例報告を提出すること
- (6) 自らリハビリテーション医療を担当した100症例のリストを提出すること

6 研修例

当プログラム関連病院は学会認定の研修施設であり、経験可能な症例数も多く、また期間内に学会認定研修施設である他の関連病院での研修も可能であるため、充実した3年間の研修により、専門医習得の資格を得ることが可能です（例：急性期病院1年→回復期病院2年）。

このコースの目標の1つとして、専門医としてリハビリテーション全般の高い臨床能力を獲得すると同時に、チーム医療のリーダーとしての技量を持ち、後進の医師のみならず、関連するコメディカルスタッフへの指導能力を獲得し、リハビリテーション医学全般の指導的立場となる医師の養成が挙げられる。

7 研修病院群

- (1) 浜松市リハビリテーション病院、
- (2) 聖隷三方原病院、
- (3) 聖隷浜松病院

8 研修期間

原則3年以上